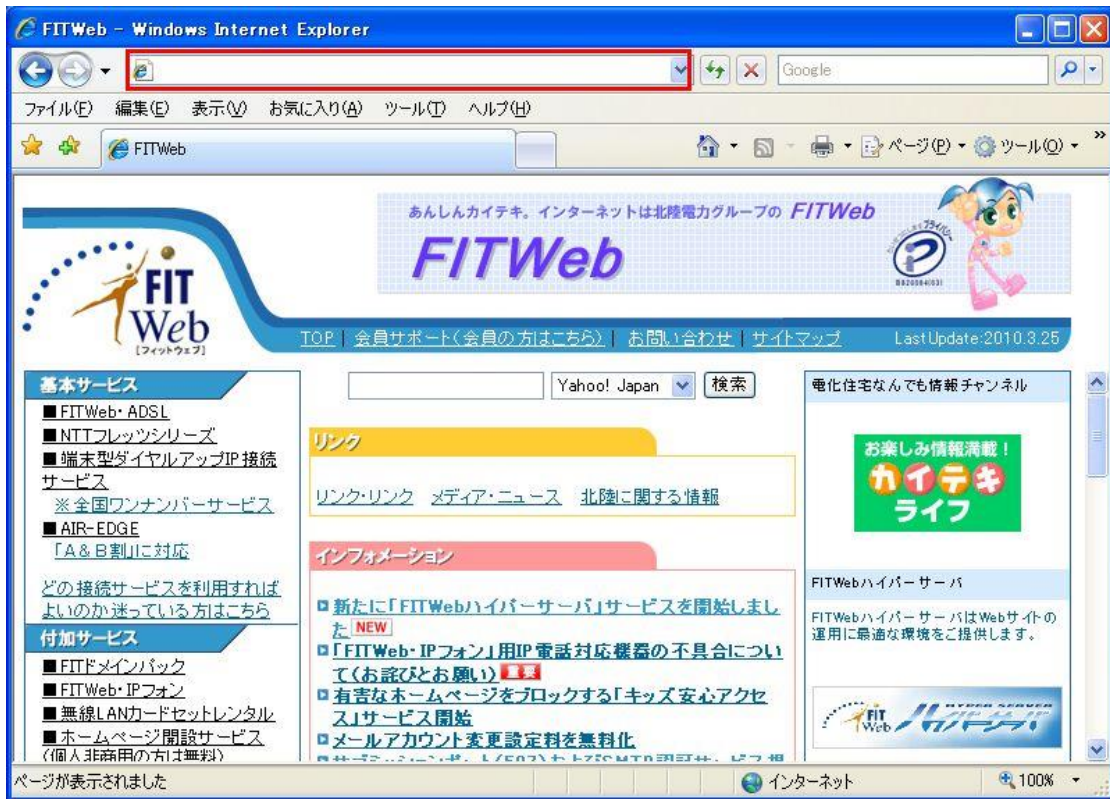


ハイパーサーバサービス メール設定変更マニュアル(管理者)

お手元に「FITWeb ハイパーサーバご利用開始のお知らせ」(以下「通知書」)をご用意ください。

- ① ブラウザ(Internet Explorer など)を起動します。
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「コントロールパネル URL」をブラウザのアドレス欄に入力します。



- ② ログイン画面が表示されます。
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
「ログイン」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the FITWeb Hyper Server login page. The form has fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password), a dropdown for 'インターフェース言語' (Interface Language), and a 'ログイン' (Login) button. A red box highlights the 'ログイン' button.

- ③ メールなどの諸設定を行う為の「コントロールパネル」が表示されます。
[メール]タブをクリックします。



- ④ メールの画面が表示されます。
登録されているメールアドレスが一覧で表示されます。変更したいメールアドレスをクリックします。



- ⑤ 変更したい内容によりタブを選択します。
- ・全般: メールアドレス、パスワード、メールボックス容量、送信メール数制限→⑥
 - ・転送: メールの転送設定→⑦
 - ・メールエイリアス: メールエイリアス(別名)の設定→⑧
 - ・自動応答: 届いたメールに対する自動応答の設定→⑨
 - ・スパムフィルタ: 迷惑メールから保護するための設定→⑩
 - ・アンチウイルス: ウイルスメールから保護するための設定→⑪



- ⑥ [全般]画面が表示されます。変更したい項目のみ設定してください。
 続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

メールアドレス	メールアドレスの”@”から左部分の変更ができます 例)den-taro@*****.comの場合、den-taroの部分
顧客パネルへのアクセス	当該メールアドレスとパスワードにてコントロールパネルへのアクセスを許可する場合は、チェックを入れて下さい。 このメールアドレスの転送やスパムフィルタなどの設定ができます（他のメールアドレスの設定は出来ません）
パスワード	現在有効なパスワードは表示されません。パスワードを紛失した場合は、ここで新たにパスワードの設定を行ってください。 パスワードとして利用できるのは右の安全レベルが「強」以上となったもののみです。「生成」ボタンをクリックすると「強」以上のパスワードを自動作成します。 入力した文字は●で表示されます。「表示」ボタンをクリックすると、入力されたパスワードが表示されます。 パスワードはメールソフトへの設定の際に必要です。再度表示は出来ませんので、控えておいてください。
パスワードの確認	上記と同じパスワードを再度入力します。
メールボックス	チェックを外すとメールボックスが削除されます。ご注意ください。メールボックスの容量を指定する場合は、「別のサイズ」にチェックし、容量を入力します。
送信メールメッセージ数の上限	1時間以内に送信できるメール数の上限です。任意で設定してください。
Pleskでの説明	このメールアドレスの説明欄として利用できます。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

このメールアカウントに追加ユーザが紐付けられている(顧客パネルへのアクセスが有効である)場合、このページで行った変更が当該ユーザ
 例えばメールアドレスとパスワードを変更すると、追加ユーザのログイン名とパスワードが新しい値に変わります。

メールアドレス * @info3.trial.fitweb.net

顧客パネルへのアクセス (ユーザ名: dentaro@info3.trial.fitweb.net)

パスワード

このパスワードは、メールボックスへのアクセスに使用されます。アドレスが追加ユーザと紐付けられている場合には、Pleskへのログインにも使用されます。

パスワードの確認

メールボックス

デフォルトサイズ(無制限)
 別のサイズ MB

メールボックスのサイズは、デフォルトサイズより大きくできません。

送信メールメッセージ数の上限

デフォルト(無制限 通/時間)
 メールボックスのカスタム値
 通 無制限

Pleskでの説明

この説明は、このメールアカウントにアクセスできるすべてのユーザに対して表示されます。

* 必須フィールド

⑦ [転送]画面が表示されます。

当該メールアドレスに宛てに届いたメールを他のメールアドレスに転送させたい時に設定します。設定を希望する場合は、「メール転送を有効にする」にチェックをし、「受信メールを次のメールアドレスに転送」の欄に転送先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスに転送する場合は、スペース、コンマ、またはセミコロンで区切って、入力して下さい。

続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

メール > メールアドレス >

dentaro@info3.trial.fitweb.net

全般 **転送** メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

1つ以上のメールアドレスへのメールメッセージの転送をセットアップします。[全般]タブでメールボックスを管理します。

メール転送をオンにする

受信メールを次のメールアドレスに転送

メールアドレスを指定してください。複数のアドレスを入力する場
マ、またはセミコロンで区切ります。

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

⑧ [メールエイリアス]画面が表示されます。

当該メールアドレスに別名(メールエイリアス)をつけることができます。ただしドメインは同一です。メールエイリアス宛てに送られたメールは、当該メールアドレスのメールボックスに入ります。期間限定で利用する一時的なメールアドレスを使用したい場合などに、メールエイリアスにして利用すると便利です。

設定を希望する場合は、「メールエイリアス」欄に入力します。複数作る場合は、「メールエイリアスを追加」をクリックすると、入力ボックスが追加されるので入力します。

続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

メール > メールアドレス >

dentaro@info3.trial.fitweb.net

全般 転送 **メールエイリアス** 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

メールエイリアスとは、プライマリメールアドレスと紐付けられている代替メールアドレスです。メールエイリアス

メールエイリアス @info3.trial.fitweb.net

メールエイリアスを追加

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

⑨ [自動応答]画面が表示されます。

当該メールアドレス宛に届いたメールに対して自動応答を設定することができます。

設定を希望する場合は、「自動応答をオンにする」にチェックをします。

以降の設定は希望に応じて任意で設定を行ってください。

続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

自動応答メールの件名	返信時の件名を指定できます。初期設定は、送られてきた件名の前に Re: が付きます。例) Re: <request_subject>
メッセージ形式	テキスト形式か HTML かどちらかを選択します。
エンコーディング	特に指定や理由がない限り UTF-8 にしておきます。
自動応答メールのテキスト	自動応答メールの本文を入力します。 例)ご連絡ありがとうございます。後日改めてご連絡いたします。
転送先	転送したいメールアドレスを入力します。空白は転送しません。
同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数の上限(1日あたり)	同じメールアドレスから来たメールへの送信回数を指定します。
指定日に自動応答をオフにする	自動応答をオフにする日を指定する場合、チェックを入れて日付を設定します。

メール > メールアドレス >

dentaro@info3.trial.fitweb.net

全般 転送 メールエイリアス **自動応答** スпамフィルタ アンチウイルス

自メールアドレス宛でのすべてのメールメッセージ用に自動応答をセットアップします。自動応答は出張や

自動応答をオンにする

自動応答メールの件名 *

メッセージ形式

テキスト

HTML

テキスト形式はあらゆるメールクライアントプログラムで処理でき、作成者が作成した通りに受信者に表示されます。一方、HTML 形式は、HTML 形式のテキストを入力できるため、見栄えのよいテキストを作成できます。ただし、HTML メッセージに対応しないクライアントを使用している場合は、HTML 形式のテキストが表示されない可能性があります。

エンコーディング

エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。エンコーディングは UTF-8 です。

自動応答メールのテキスト

テキスト形式のみ。HTML は使用できません。タグはすべて無視されます。

転送先

自動応答の送信時に、ここで指定されたメールアドレスへオリジナルのメールを送ります。

同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数の上限(1日あたり) *

指定日に自動応答をオフにする

* 必須フィールド

⑩ [スパムフィルタ]画面が表示されます。

スパムメール(迷惑メール)のフィルタ(振分けと削除)の設定を行います。設定を希望する場合は「このメールアドレスに対してスパムフィルタをオンにする」にチェックを入れます。

「スパムとして分類されたメッセージに対する処理」はご希望に合わせて設定して下さい。

「詳細な設定を表示」をクリックすると、スパムフィルタの感度、ホワイトやブラックリストの設定ができます。ご希望に合わせて設定を行ってください。

※ スパムフィルタの感度の数値は、メールをスパムであるとみなすための判断基準の値です。初期値では7になっています。より感度を高くする場合は、数値を下げてください。

続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 **スパムフィルタ** アンチウイルス

スパムフィルタリングサービスは、そのメールアドレス宛てに送信されたスパムメールを検出します。IMAP アクセスできる特別なスパムフォルダにスパムメールを移動するように、スパムフィルタを設定し、ネットワークテストを行います。

このメールアドレスに対してスパムフィルタをオンにする

スパムとして分類されたメッセージに対する処理

スパムメッセージの件名に指定テキストを追加する
SPAM
テキストを追加したくない場合は、このフィールドを空白の名前にスコアを含めたい場合は、_SCORE_ と入力してください。

スパムメッセージをすべて削除する
スパムメッセージは受信ボックスから削除されます。

スパムをスパムフォルダに移動する
スパムメッセージをすべて「スパム」フォルダに移動します。クライアントプログラムまたはウェブメールからアクセスできない場合は、スパムフォルダを用いてスパムフィルタを学習させます。

詳細な設定を表示

* 必須フィールド

OK **適用する** キャンセル

フィルタ感度

スパムフィルタは、各メッセージのコンテンツと件名に対して複数のテストを実施します。その結果、ポイントが高いほど、メッセージがスパムである可能性が高くなります。デフォルトで、スパムと分類するようにフィルタ感度が設定されています。現在の設定でスパムメッセージを大量にして（「6」など）フィルタ感度を上げます。必要なメールまで迷惑メールとして処理されている場合、フィルタ感度を下げます。[スパムフィルタを学習させる方法の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

スパムフィルタの感度 * 7

ホワイトリスト

ホワイトリストに含まれる送信者からのメールはチェックされません。

ホワイトリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスに用えます(例: *@domain.com, user?@*.com)。

ブラックリスト

ブラックリストに含まれる送信者からのメールはブロックされます。

ブラックリスト

ドメイン名を 1 行に 1 件ずつ入力してください。アドレスに用えます(例: *@domain.com, user?@*.com)。

* 必須フィールド

OK **適用する** キャンセル

- ⑪ [アンチウイルス]画面が表示されます。
ウイルスを含むメールをブロックします。
設定を希望する場合は、「このメールアドレスに対してアンチウイルス保護をオンにする」にチェックし、保護する対象を選択してください。
続けて設定をする場合は「適用する」ボタン、他に設定が無い場合は「OK」ボタンをクリックし、完了です。

メール > メールアドレス >
dentaro@info3.trial.fitweb.net

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ **アンチウイルス**

アンチウイルスサービスは、ウイルスが含まれるメールメッセージをブロックして送信者と受信者の

このメールアドレスに対してアンチウイルス保護をオンにする

ウイルスチェック

受信メールのみ
 送信メールのみ
 送信メールと受信メール

* 必須フィールド

OK **適用する** キャンセル